

平成 24 年度の事業報告書

平成 24 年 8 月 24 日から 25 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 心の架け橋いわて

1 事業の成果

東日本大震災被災地住民への訪問活動や相談支援、仮設住宅居住者や在宅被災者を対象としたサロン活動等を通じ、多職種によるメンタルヘルスサービスを継続的に提供するとともに、IT 機器を活用して関連機関との連携を強化し災害メンタルヘルス専門家の育成を推進した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
①関係機関、 団体との連 携による、メ ンタルヘル スに関わる 予防、啓発、 相談事業	仮設住宅および在宅被災 者宅への訪問活動	毎週金 曜日	岩手県 大槌町	30 名 (延べ)	105 名 (被災 地住民、延 べ)	9,457
	心理面接	毎週金 曜また は土曜 日	同上	1 名	8 名 (被災地 住民、延べ)	
	仮設住宅集会所や公民館 におけるサロン活動、医 療講話、相談	毎週土 曜日	同上	88 名	276 名 (被災 地住民およ び医療機関 支援者、延 べ)	
②IT 機器を 活用したメ ンタルヘル スサービス の提供	インターネットと遠隔テ レビ会議システムの活用 により支援者間および関 係団体との情報共有を効 率化し、医療過疎地への 遠隔メンタルヘルス支援 への新たな可能性を示し た。	随時	岩手県大 槌町、同 盛岡市、 山形県山 形市、東 京都千代 田区、神 奈川県横 浜市、千 葉県千葉 市、兵庫 県神戸市 など	15 名	支援メンバ ー15 名およ びインター ネットに接 続できる環 境がある関 係者	2,145

③災害復興に精通するメンタルヘルス専門家の育成	災害精神保健専門書の翻訳（支援メンバー6名を含む分担翻訳）	8月より継続中	弘文堂等（東京都千代田区）	22名	医療・保健・心理・福祉関係者全般	1,200
	災害メンタルヘルスに関する教育研修会の実施（米国在住本間 True 玲子心理士）	9月23日	慶応義塾大学医学部（東京都新宿区）	2名	支援メンバーおよび医療・保健・福祉・心理関係者30名	150
	日本精神科救急学会における教育研修会の実施（米国在住 Craig Katz 医師）	10月28日	奈良県奈良市	5名	学会参加者80名	120

④地域ニーズに即したメンタルヘルスサービスの提案	地域支援相談員による被災住民の生活全般調査の集計、解析	8月-3月	岩手県大槌町	2名	大槌町および近隣地域の支援関係者	357
⑤社会活動を行っている団体間の協力、支援、ネットワーク構築に関する事業	米国9.11家族会との交流会への参加	10月26日	奈良県奈良市	6名	米国9.11家族会および支援メンバー20名	220
	ベルガーディア鯨山、遠野まごころネット、アメリカケアズ等との交流会の実施	11月23日	岩手県盛岡市	2名	岩手県内外の被災地支援団体関係者など20名	40
	プランジャパン主催による講演会「心のケア支援フォーラム被災者の心を支えるために」への講師派遣	3月9日	東京都新宿区	1名	被災地支援に関心を持つ一般住民、支援団体関係者など150名	30
	岩手高等教育コンソーシアム講演会に講師派遣	3月15日	岩手県釜石市	1名	釜石市周辺の自治体職員、教員、医療保健関係者など30名	30

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	事業費 の金額 (千円)
	実施しなかった				

(備考)

- 2 は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 (2)には、定款上、「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。